

H29 年度医療技術等国際展開推進事業専門家派遣報告書

医学医療系脳神経外科・講師 阿久津博義

派遣期間：平成 29 年 10 月 30 日 ～ 平成 29 年 11 月 3 日

チョーライ病院脳神経外科では下垂体腫瘍や頭蓋底腫瘍に対して経鼻内視鏡手術を導入済だが、まだ経験や道具の面で不足しているところが多い。当院では行えている脳神経外科と耳鼻咽喉科の協力体制も、チョーライ病院では去年に引き続き体制ができていない。それらの点に関して先方からエキスパートによる技術指導・講演の依頼があり、私と耳鼻咽喉科田中医師で訪問した。

前半は耳鼻咽喉科の経鼻内視鏡手術にたいする技術指導、後半は脳神経外科の頭蓋底腫瘍に対する技術指導を、実症例の手術を実演して行った。後半の頭蓋底腫瘍に関しては、チョーライ病院では行ったことがないような症例を順調に手術治療することができ、現地ドクターにとっても有意義であった。また経鼻内視鏡手術施行に際し、今年度はオリンパス社の 4K 内視鏡をデモンストレーションし、高解像度の映像が手術の質にとっていかに大切かを理解してもらうとともに、ナカニシ社のドリルもデモンストレーションした。また、脳神経外科阿久津、耳鼻咽喉科田中先生ともに鋼製小物も数種類持ちこみ、道具の重要性も理解してもらった。

さらには、チョーライ病院では耳鼻咽喉科・脳神経外科それぞれが道具を独立して導入しており、お互いの機器を使用することができない体制になっている。今回は私と田中医師とがチームで手術を行うことで、初めて 2 つの科の道具を共有しつつ手術を行った。その際にチョーライ病院の脳神経外科と耳鼻咽喉科医師も道具の導入に関して協力体制を構築することができ、先方においても大変有意義な実績になったと考えられた。

活動時の写真等



初日、耳鼻科・脳神経外科合同ウェルカムパーティー。2科のコラボレーションが進んできた証。



経鼻内視鏡手術中。耳鼻科田中先生と。



経鼻内視鏡手術中の写真。耳鼻科の田中先生と。



朝のカンファレンス中の提示症例に対する治療方針の相談



最終日、脳神経外科・耳鼻科合同のフェアウェルパーティー。